

第 70 回 IRIDeS 金曜フォーラムを Web 開催しました (2020/11/20)

テーマ：新任教員が携わる災害科学研究②
場 所：オンライン開催 (zoom)

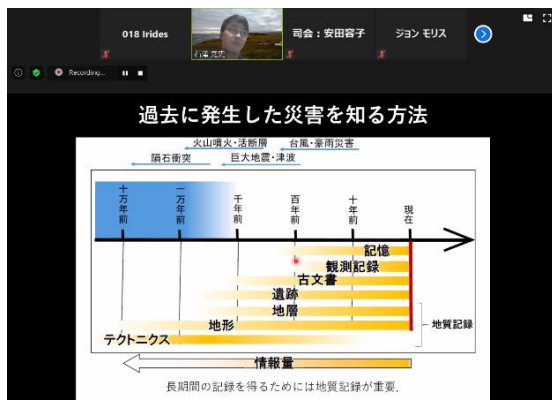
2020年11月20日(金)に、「第70回 IRIDeS 金曜フォーラム」を開催しました。新型コロナウイルスの影響を考慮し、Web開催として実施しました。IRIDeS 金曜フォーラムは、当研究所で行われている研究・活動の情報を所内のみならず学内外・一般の方々と広く共有し、研究の連携・融合を図ることを目的に、定期的な発表・討論の場として開催しているものです。本フォーラムでは、主に研究所の教員・スタッフから、各部門・分野での国際的・学際的な研究テーマについて発表します。

第70回は『新任教員が携わる災害科学研究②』をテーマとして、以下3名の発表者がそれぞれの研究について話題提供を行いました。当研究所ならではの多様なテーマ・視点にもとづいた発表内容であり、当日は55名ほどの参加をいただき、活発な質疑応答が行われました。

当日のプログラムは以下の通りです。

1. 「地質記録から読み解く災害の履歴—地質年代学の重要性について—」
石澤 堯史 助教 (災害理学研究部門 活断層研究分野)
2. 「東日本大震災における被災者の心のケア」
臼倉 瞳 助教 (災害医学研究部門 災害精神医学研究分野)
3. 「文化遺産と防災～「仙台防災枠組み2015-2030」を読み直す」
モリス ジョン 特任教授 (客員) (人間・社会対応研究分野 災害文化研究分野)

司会・進行：安田 容子 助教 (人間・社会対応研究部門 歴史資料保存研究分野)



文責：石澤堯史 (災害理学研究部門)
郭佳 (災害リスク研究部門)
安田容子 (人間・社会対応研究部門)